



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 25 日

上場会社名 亀田製菓株式会社 上場取引所 東証二部
 コード番号 2220 URL <http://www.kamedaseika.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中 通泰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営統括本部長 (氏名) 佐藤 勇 TEL (025)382-2111(代)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	56,212	2.8	2,729	13.5	2,876	16.7	1,414	9.7
19年3月期第3四半期	54,659	1.5	2,404	12.0	2,464	9.1	1,289	37.4
19年3月期	72,449	—	3,240	—	3,330	—	1,931	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	63 40	—
19年3月期第3四半期	57 80	—
19年3月期	86 55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	49,418	26,220	52.9	1,171 16
19年3月期第3四半期	47,909	24,858	51.7	1,109 04
19年3月期	49,443	25,693	51.7	1,146 38

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	1,917	△2,016	△1,029	3,755
19年3月期第3四半期	1,761	△1,934	△787	2,192
19年3月期	4,518	△1,790	△983	4,891

2. 配当の状況

当社は第3四半期末を基準日とした配当を実施していないため、記載を省略しております。

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	74,000	2.1	3,400	4.9	3,400	2.1	2,000	3.5	89	62

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成 19 年 5 月 10 日に公表しました連結及び個別の業績予想は、本資料において修正していません。
2. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期は、原油価格の高騰や米国におけるサブプライム問題など、世界経済の不安要素が国内経済に深く影響を与える形で推移いたしました。これらはガソリン価格の高騰や消費財の値上げという形で、家計や個人消費にも大きな影響を与えることとなりました。

食品・菓子業界においては、原材料価格の高騰への対応が緊急の課題となるとともに、相次ぐ食品偽装事件や輸入食品の安全問題が大きく取りあげられ、コンプライアンス体制をより一層強化することが求められました。

このような経営環境のもとで、当グループは今後の成長を見据えた商品育成や主力商品の販売強化に取り組まれました。また、食の安全・安心を確保するための仕組みづくりを内部統制システム構築上の最優先事項に位置づけ、取り組みを一層強化することといたしました。

売上面では、「柿の種」、「ハッピーターン」、「ぽたぽた焼」、「つまみ種」、「まがりせんべい」などが前年を上回る販売推移となったほか、主力商品は概ね堅調に推移いたしました。育成商品では「手塩屋」、「ちぎれもち」が引き続き堅調に推移いたしました。また、百貨店チャンネルでは「とよす」ブランドなどが好調に推移いたしました。

一方で、「オーヴィル電子レンジポップコーン」など米菓以外の新ジャンル商品については、導入時の販促効果が一巡したため、前年を大きく下回る推移となりました。

これらの結果、当第 3 四半期の売上高は 56,212 百万円となり、前年同四半期比 1,553 百万円の増加となりました。

利益面では、逼迫する原材料や燃料費の高騰など厳しいコスト環境に対して、稼働率の向上や費用削減に積極的に取り組みました。また、前年同四半期には新ジャンル商品の導入・普及のために販売促進活動を実施したため、当第 3 四半期については当該費用が減少する形となりました。

加えて、グループ企業においては百貨店チャンネルが好調に推移したとよす株式会社や、菓子・食品物流に特化する戦略をとった新潟輸送株式会社が、連結業績の確保に貢献いたしました。

これらの結果、当第 3 四半期の営業利益は 2,729 百万円、経常利益は 2,876 百万円、四半期純利益は 1,414 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況

当第 3 四半期末現在の総資産の残高は、49,418 百万円となり、前年同四半期比 1,509 百万円の増加となりました。

流動資産の残高は 19,416 百万円となり、前年同四半期比 1,872 百万円の増加となりました。内容は主として、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加などによるものであります。

固定資産の残高は 30,002 百万円となり、前年同四半期比 363 百万円の減少となりました。内容は主として、のれんの償却による減少などによるものであります。

流動負債の残高は 14,892 百万円となり、前年同四半期比 1,029 百万円の増加となりました。内容は主として、設備関係負債の増加や販売促進引当金の計上などによるものであります。

固定負債の残高は 8,305 百万円となり、前年同四半期比 882 百万円の減少となりました。内容は主として、長期借入金の返済などによるものであります。

純資産の残高は 26,220 百万円となり、前年同四半期比 1,362 百万円の増加となりました。内容は主として、利益剰余金の増加などによるものであります。なお、平成 19 年 3 月に自己株式 1,395,000 株（簿価 1,418 百万円）を資本剰余金および利益剰余金をもって消却いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期利益、減価償却費による増加の一方、季節変動による売上債権の増加や法人税等の支払いによる減少により、1,917 百万円（前年同四半期比 156 百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による減少の一方、投資有価証券の売却収入による増加により、△2,016 百万円（前年同四半期比 81 百万円の支出増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いにより、△1,029 百万円（前年同四半期比 242 百万円の支出増加）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して 1,136 百万円減少し、現金及び現金同等物の四半期末残高は 3,755 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後につきましては、売上面では堅調に推移する見込みであるものの、原材料価格の高騰によりコスト環境は一層厳しさを増すものと考えられます。売上の確保を確実なものとしながら、固定費の削減や費用の効果的な執行に取り組み、業績の確保をはかってまいります。

このような前提のもとで、通期の業績予想については連結・個別共に平成 19 年 5 月 10 日発表の見通しから変更ありません。

なお、原材料価格の動向はその後さらに厳しい推移となることが予想されることから、当社の主要な米菓製品について、平成 20 年 4 月以降出荷価格の改定を行うこととしております。価格改定による当期の業績への影響はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計上基準・・・法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

平成 19 年度の法人税改正に伴い、当連結会計年度より、平成 19 年 4 月 1 日以降取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ 37,614 千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	金 額	構成比
(資産の部)		%		%				%
流動資産	17,543,771	36.6	19,416,132	39.3	1,872,361	19,155,998	38.7	
現金及び預金	2,959,045		4,525,884		1,566,839	5,661,848		
受取手形及び売掛金	11,361,715		11,667,367		305,651	10,488,815		
たな卸資産	2,217,511		2,149,869		△ 67,642	2,019,594		
その他	1,005,498		1,073,012		67,513	985,739		
固定資産	30,365,623	63.4	30,002,528	60.7	△ 363,094	30,287,241	61.3	
有形固定資産	22,366,961	46.7	22,653,598	45.8	286,636	22,261,671	45.0	
無形固定資産	805,363	1.7	477,987	1.0	△ 327,375	757,881	1.6	
投資その他の資産	7,193,298	15.0	6,870,943	13.9	△ 322,355	7,267,688	14.7	
資産合計	47,909,394	100.0	49,418,661	100.0	1,509,266	49,443,239	100.0	
(負債の部)								
流動負債	13,863,282	28.9	14,892,369	30.1	1,029,086	14,781,332	29.9	
支払手形及び買掛金	5,098,268		5,342,140		243,872	4,904,870		
短期借入金	2,567,089		2,485,777		△ 81,312	2,535,984		
その他	6,197,924		7,064,451		866,526	7,340,477		
固定負債	9,187,563	19.2	8,305,486	16.8	△ 882,077	8,968,113	18.2	
長期借入金	1,547,246		961,469		△ 585,777	1,400,800		
退職給付引当金	7,032,047		6,836,550		△ 195,497	6,961,247		
その他	608,270		507,466		△ 100,803	606,065		
負債合計	23,050,846	48.1	23,197,855	46.9	147,009	23,749,446	48.1	
(純資産の部)								
株主資本	24,308,166	50.8	25,804,009	52.2	1,495,842	24,949,235	50.4	
資本金	1,946,132	4.1	1,946,132	3.9	—	1,946,132	3.9	
資本剰余金	1,565,000	3.3	486,533	1.0	△ 1,078,466	486,533	1.0	
利益剰余金	22,215,091	46.4	23,373,676	47.3	1,158,585	22,516,769	45.5	
自己株式	△ 1,418,057	△3.0	△ 2,332	△0.0	1,415,724	△ 199	△0.0	
評価・換算差額等	444,713	0.9	332,776	0.7	△ 111,936	636,204	1.3	
その他有価証券評価差額金	423,014	0.9	316,030	0.7	△ 106,984	588,566	1.2	
繰延ヘッジ損益	—	—	7,643	0.0	7,643	9,292	0.0	
為替換算調整勘定	21,698	0.0	9,102	0.0	△ 12,595	38,344	0.1	
少数株主持分	105,668	0.2	84,020	0.2	△ 21,648	108,353	0.2	
純資産合計	24,858,548	51.9	26,220,806	53.1	1,362,257	25,693,793	51.9	
負債純資産合計	47,909,394	100.0	49,418,661	100.0	1,509,266	49,443,239	100.0	

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)		増 減	(参考) 前 期 (平成19年3月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
		%		%			%
売上高	54,659,277	100.0	56,212,947	100.0	1,553,669	72,449,556	100.0
売上原価	32,537,816	59.5	33,614,879	59.8	1,077,062	43,092,996	59.5
売上総利益	22,121,461	40.5	22,598,068	40.2	476,606	29,356,560	40.5
販売費及び一般管理費	19,717,209	36.1	19,869,061	35.3	151,851	26,116,481	36.0
営業利益	2,404,251	4.4	2,729,006	4.9	324,754	3,240,079	4.5
営業外収益	157,766	0.3	213,954	0.3	56,187	205,572	0.3
営業外費用	97,886	0.2	66,130	0.1	△ 31,755	114,750	0.2
経常利益	2,464,132	4.5	2,876,830	5.1	412,698	3,330,901	4.6
特別利益	2,925	0.0	350,525	0.6	347,599	380,771	0.5
特別損失	198,972	0.4	637,264	1.1	438,291	361,419	0.5
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,268,085	4.1	2,590,091	4.6	322,006	3,350,253	4.6
税金費用	979,383	1.8	1,194,999	2.1	215,616	1,416,886	1.9
少数株主利益(△は損失)	△ 1,268	△0.0	△ 19,765	△0.0	△ 18,497	1,724	0.0
四半期(当期)純利益	1,289,969	2.3	1,414,857	2.5	124,887	1,931,642	2.7

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前 期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,268,085	2,590,091	3,350,253
減価償却費	1,696,159	1,945,949	2,279,180
退職給付引当金の減少額	△ 79,293	△ 124,697	△ 150,093
資産・負債の純増減額	△ 1,102,320	△ 880,407	301,975
その他	76,708	△ 67,572	△ 143,742
小 計	2,859,339	3,463,362	5,637,574
法人税等の支払額	△ 1,156,971	△ 1,586,515	△ 1,159,196
その他	58,906	40,504	39,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,761,273	1,917,352	4,518,357
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の純収支	△ 331,208	353,282	△ 333,250
有形固定資産の純収支	△ 1,535,122	△ 2,288,569	△ 1,369,709
その他	△ 68,533	△ 81,387	△ 87,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,934,864	△ 2,016,674	△ 1,790,135
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金の純収支	△ 491,163	△ 489,538	△ 668,714
自己株式の取得による支出	△ 1,330	△ 2,133	△ 1,934
配当金の支払額	△ 294,975	△ 538,062	△ 312,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 787,469	△ 1,029,734	△ 983,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,517	△ 7,206	△ 7,861
現金及び現金同等物の増加額(△は減少額)	△ 962,577	△ 1,136,264	1,737,225
現金及び現金同等物の期首残高	3,154,622	4,891,848	3,154,622
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,192,045	3,755,584	4,891,848

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)

(単位：千円)

	菓子の製造 販売事業	貨物運送、 倉庫事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	52,231,103	1,658,138	770,036	54,659,277	—	54,659,277
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,159	3,450,688	652,532	4,104,379	(4,104,379)	—
計	52,232,262	5,108,826	1,422,568	58,763,657	(4,104,379)	54,659,277
営業費用	49,993,158	5,006,322	1,359,924	56,359,405	(4,104,379)	52,255,025
営業利益	2,239,103	102,503	62,644	2,404,251	—	2,404,251

当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)

(単位：千円)

	菓子の製造 販売事業	貨物運送、 倉庫事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	53,829,614	1,761,033	622,298	56,212,947	—	56,212,947
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,473	3,489,554	690,676	4,182,704	(4,182,704)	—
計	53,832,087	5,250,588	1,312,975	60,395,651	(4,182,704)	56,212,947
営業費用	51,319,750	5,088,190	1,258,703	57,666,644	(4,182,704)	53,483,940
営業利益	2,512,337	162,397	54,271	2,729,006	—	2,729,006

(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)

(単位：千円)

	菓子の製造 販売事業	貨物運送、 倉庫事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	69,309,096	2,161,458	979,001	72,449,556	—	72,449,556
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,711	4,579,916	965,951	5,547,579	(5,547,579)	—
計	69,310,807	6,741,374	1,944,953	77,997,135	(5,547,579)	72,449,556
営業費用	66,264,040	6,597,981	1,895,034	74,757,056	(5,547,579)	69,209,477
営業利益	3,046,766	143,393	49,918	3,240,079	—	3,240,079

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な事業内容

- (1) 菓子の製造販売事業・・・菓子の製造販売
- (2) 貨物運送、倉庫事業・・・貨物運送、倉庫
- (3) その他・・・自動車の販売・修理、コンピュータソフトウェアの開発・販売、設備等の設計・監理

※記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。